

- New York STRINGER - オウルノットの基礎 WORK

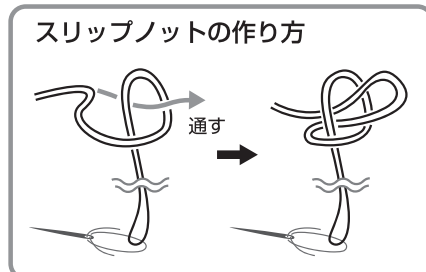
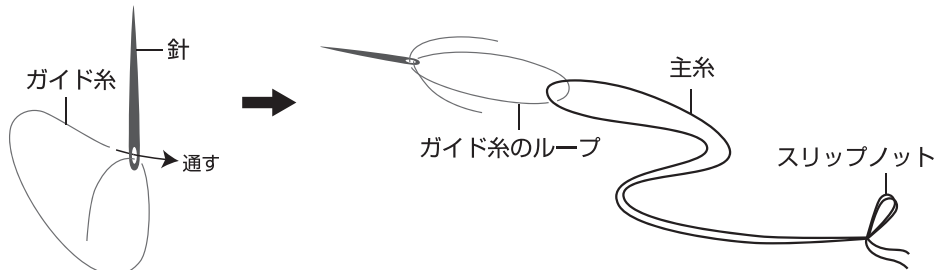
ノットを作る前の準備

① ガイド糸と主糸の準備

ガイド糸とは主糸をガイドするために使う糸です。

白極細のシルク糸（サイズ：00）を約 40cm に切り、ビーズステッチ針 12 号に通します。

このとき糸の両端は、ループより短くします。次に主糸をループに通し、糸端をスリップノットで止めておきます。



② サンプルノットで主糸を選ぶ

ビーズやパール穴の大きさにより、主糸の太さと通す本数を検討します。

糸は細めのものから試し、必要であれば太めの糸へ変更していきます。ビーズやパールをストリングする場合、糸は常に 2 本取りにして通すのが基本ですが、場合によっては 3 本取りや 4 本取りにして調節します。

サンプルノットは主糸約 50cm にガイド糸をつけ、ビーズを 4~5 個通して、ノットを作ります。（基本ノットの作り方参照）

糸が太いとノットがこぶのように大きくなり、細いとビーズの穴をするする通ってしまいます。こうして、サンプルノットを参考に主糸と糸長を決め、全ビーズを通していきます。

糸長は、オールノットの場合でネックレスの長さの約 5 倍、ブレスレットでは、約 6 倍が目安です。

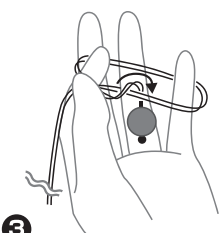
基本ノットの作り方（右利きの場合）

POINT

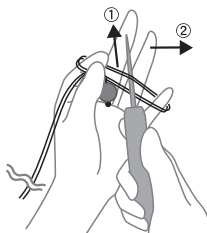
レシピ図では × 印がノット位置を示しています。

作り忘れや連続ノットにならないよう注意しましょう。

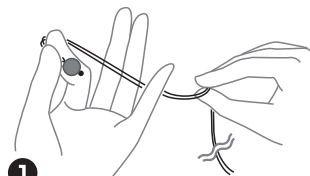
ノットの大きさが均等で、きれいな丸みがあること、ビーズとの間に隙間がないことが大事です。



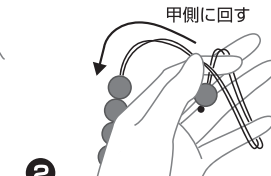
③ 交差させた部分を親指で押さえ、ビーズを糸の輪の中に手前からくぐらせる。



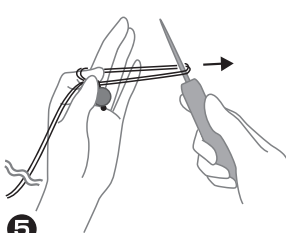
④ 右手にオウルを持ち、輪の奥側の糸の中央に、針を上向きに入れる。そのままオウルを右に滑らせる。



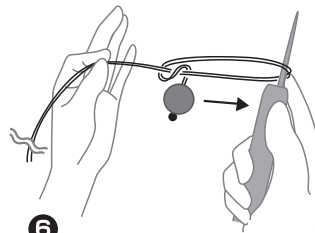
① ビーズのすぐ上を親指と人差し指で持つ。ノットを作るスペースを少しあけて、糸を小指にかける。



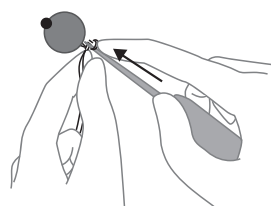
② 小指にかけた糸を人差し指で糸で交差させてしっかり持ち、糸と残りの連（ビーズ）を左手の甲側に回す。



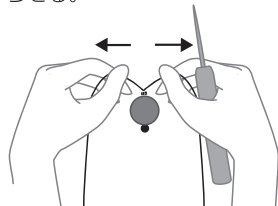
⑤ 小指にかけていた糸はずす。



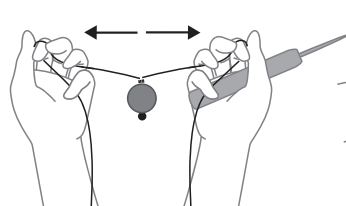
⑥ 糸を引き、ビーズをオウルに寄せるように、輪を縮める。



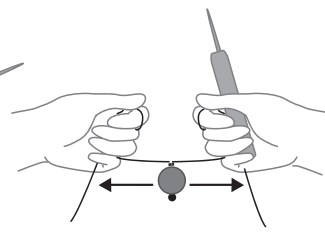
⑦ 針先をビーズの穴に向けるようにして、ビーズの際にノットを寄せて、針先を抜く。



⑧ 2 本取りの糸を左右に開く。



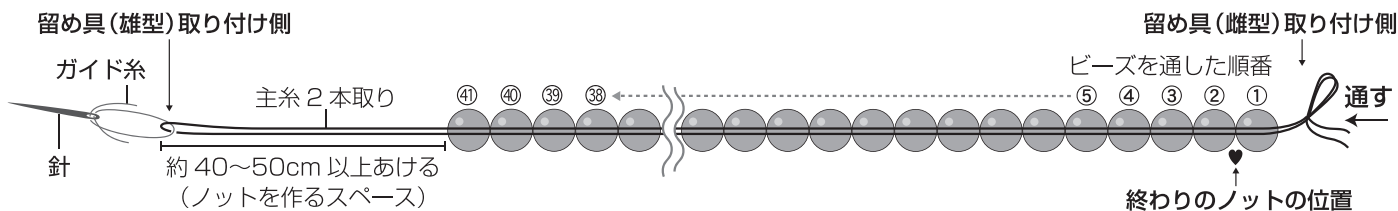
⑨ 糸をそれぞれ左右の薬指と小指の間にはさんだら、手のひらを上に向けて引き、ノットを引き締める。



⑩ もう 1 度、図のように引き締める。オウルはずっと右手に持ったまま次の作業に備える。

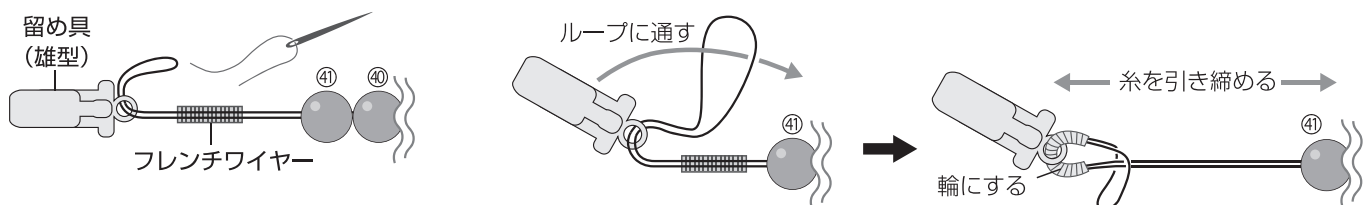
- New York STRINGER - オウルノットの基礎 WORK

ビーズを主糸に通す



フレンチワイヤーを使って留め具(雄型)を付ける

- ① 全ビーズを通し終わったら、フレンチワイヤーと留め具(雄型)を通し、ガイド糸をはずします。
- ② 主糸のループに雄型をくぐらせ、主糸をゆっくり引いて、フレンチワイヤーを雄型のカンの中で小さな輪になるように引き締めます。この後、レシピのノット方向と位置を確認し、ノットを作っていきます。



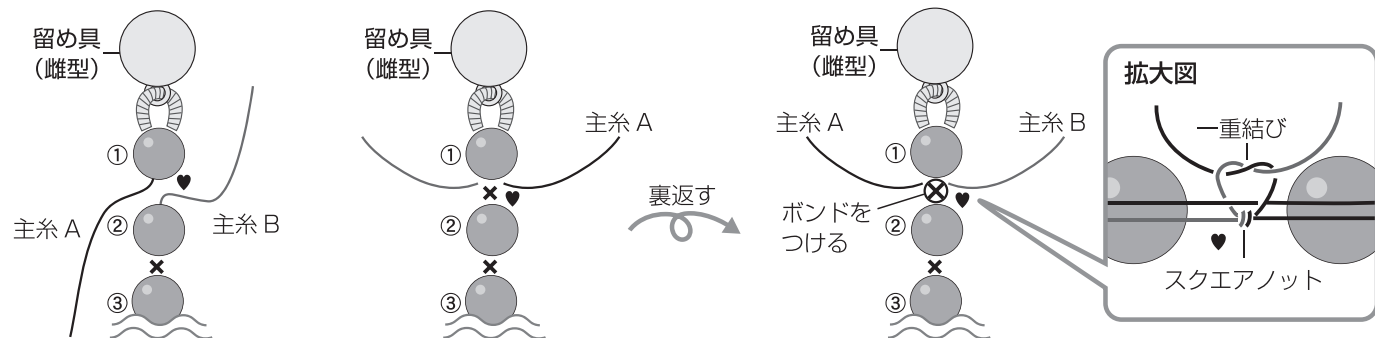
もう片方の留め具(雌型)を付ける

- ① すべての作業が終わったら、1ビーズと2ビーズの間(♥)から主糸を1本引き抜き(主糸B)、残った1本(主糸A)にガイド糸を取り付け、フレンチワイヤーを通します。
- ② 続けて留め具(雌型)を通して、1ビーズに戻し、はじめと同じようにフレンチワイヤーを丸く引き締めます。



終わりのノット

1ビーズと2ビーズの間で、終わりのノットをします。糸を引き締め、余分な隙間ができないように注意しましょう。スクエアノットだけでは裏側はストレートの糸なので、裏返して一重結びをし、美観と強度を保ちます。余った糸をそれぞれ1本ずつ返し糸をし、終わりのノットの周りにボンドをつけ、余分の糸を引っ張りながら糸切りはさみ(そり刃)で切ります。



- ① 主糸Bを上にして一度結ぶ。
- ② もう一度、主糸Bを上にして結ぶ。(スクエアノット)
- ③ 裏返して、スクエアノットをした裏側で、主糸Aを上にして一度結ぶ。